

『日本を健康にする！』研究会発足へ

商品開発と情報交流

栄養士・食品企業・消費者繋ぐ

健康・栄養食品メーカーと栄養士・管理栄養士、消費者が情報を共有して健康増進に取り組み『日本を健康にする！』研究会が2月に発足する。第一回研究会が2月18日に開催、さらに2月27日に食・健康関連従事者向けセミナー開催が予定されている。厚生労働省が発表した平成20年度の国民医療費は34億円を超えている。莫大な医療費の削減が大きな課題となっている中で、2008年4月から特定健診・保健指導制度が始まり、栄養士・管理栄養士の活躍が一層重要視されている。栄養士と食品企業、消費者を繋ぐ新しい活動が研究会を通して始動する。

『「日本を健康にする！」研究会』（事務局 RDサポート：東京都千代田区、03・5217・5561）は、会長に東京海洋大学大学院の矢澤一良教授、副会長に名古屋大学の大澤俊彦に名古屋大学の

健康・栄養食品の普及・健康・栄養情報サイトを「MEAL PLAZA（ミルプラ）」を2月から開設、栄養士・管理栄養士の資格を持ったスペシャリストが消費者からの栄養に関する質問に回答したり、栄養情報コラムなどで健康に関する知識を発信する。消費者向けのセミナーや料理教室などを予定しており、企業も参加できる場を構築する。③教育研修・栄養士・管理栄養士に対して健康・栄養食品の知識を深めることを目的に、セミナー・イベントを開催する。

2月18日に研究会設立を記念して食品企業や栄養士を対象とした第一回研究会が東京都渋谷区のT、スクロバー新館で開催される。矢澤会長による講演「健康・栄養食品と栄養士の関わり（仮）」、大澤副会長による「社会に求められる機能性食品（仮）」、新事業の計画が発表される。受講者を募集中で、参加費は会員5000円、非会員1万円。申込は2月9日までに事務局に申し込む。また、2月27日に東京都港区の東京海洋大学で開催する食・健康関連職従事者向けスキルアップセミナーは「スポーツ



ミルプラのサイトイメージ

栄養学の基礎知識と指導時における実践的な運動法をテーマに、東京海洋大学大学院の矢澤一良教授、立教大学杉浦克己教授の講演が行われる。企業からは明治製菓とカネカが協賛企業となり講演を行うほか、企業展示で日本農産工業、富士化学工業、健康体力研究所、オルトメディコなどが商品展示を行う。今後の研究会の事業計画には消費者参加型のイベントや有資格者対象セミナー、商品開発タイアップ企画などが予定されている。